

神奈川県臨床細胞学会 役員会 議事録

日時：2023年10月14日（土曜日） 12:00～

場所：北里大学 IPE 棟3階 チーム医療演習室

役員総数：33名（会長1名、副会長2名、監事2名、幹事28

出席者数：27名

出席者：副会長 梶原博、古田玲子

幹事 阿部直也、池田仁恵、伊藤仁、磯崎勝、今井宏樹、風間暁男、加戸伸明、草苺宏有、  
佐治晴哉、佐藤之俊、森裕二、仲村武、三田和博、吉田功、西尾由紀子

監事 石渡仁深

（事務局書記 佐川弘美）

委任状：9名

欠席者：会長 宮城悦子

幹事 新井正秀、稲山嘉明、大金直樹、小野瀬亮、加藤久盛、小島朋子、戸澤晃子、中村直哉  
藤井誠志、松島隆、松永達也、横瀬智之、ルイズ横田奈朋

監事 上坊敏子

1. 会長挨拶

2. 報告事項

- ① 庶務報告
- ② 編集委員会報告
- ③ 医師研修委員会報告
- ④ 検査士研修委員会報告
- ⑤ 広報委員会報告
- ⑥ 2022 年度会計報告および 2023 年度予算について
- ⑦ 会費滞納者について
- ⑧ 第 41 回神奈川県臨床細胞学会学術集会（2024 年度）について
- ⑨ 関東臨床細胞学会のあり方について報告

3. 審議事項

- ① 事務局業務の一部の外部委託について
- ② 第 42 回神奈川県臨床細胞学会学術集会 会長について
- ③ 次期会長について（2025～2027 年度）

4. その他

・報告事項

① 庶務報告

庶務担当幹事 西尾 由紀子

1. 会員数 (2023年9月15日現在)

医師	専門医	歯科専門医	一般医師	計
203(名誉5人)	175	5	23	711 (昨年比 16名増)
技師	細胞検査士	一般技師	その他	
508	506	1	1	

2. 新入会員数 (2023年9月15日現在)

医師	専門医	歯科専門医	計
7	6	1	22 (昨年比 5名増)
技師	細胞検査士		
15	15		

3. 会費納入状況 (2023年9月10日現在)

2022年度分 589/710 (83.0%) (昨年比 2.2%増)

(除 名誉会員 5名)

医師会員 153/202 (75.7%) (昨年比 1.3%減)

技師会員 436/508 (85.8%) (昨年比 2.9%増)

② 編集委員会報告

委員長 吉田 功

1. 新任委員 (2023年度～) のご紹介

佐々木栄司 (昭和大学横浜市北部病院甲状腺センター)

平澤猛 (東海大学医学部専門診療学系産婦人科)

松村舞依 (神奈川県立循環器呼吸器病センター)

・28巻から査読に加わっていただいている

2. 27巻1号の発刊

2023年3月に発刊

原著 1編

症例報告 4編

3. 28巻1号の進捗状況

症例報告 4編

スライドカンファレンス 2編

会員の声 1編

10月末の発刊を目指す

- ・第28巻は会員の声を新たに設けた
- ・第28巻は10月末の発刊を目指す、若干遅れる可能性もある
- ・次年度（第29巻）は8月末の発刊を目指している
- ・古田副会長より、第27巻2号の発刊があったが、第28巻2号に訂正の報告があった。日本臨床細胞学会へ発表された会員は積極的に投稿して欲しい旨が伝えられた

③ 医師研修委員会報告

委員長 小野瀬 亮

細胞診専門医資格試験認定試験直前講習（検鏡実習）

コロナウイルス感染症の感染拡大により4年連続で中止

④ 検査士研修委員会報告

委員長 草苺 宏有

1. 生活習慣病検診従事者研修

2022年9月11日（日）、25日（日）の2日間

場所：横浜市立大学医学部実習棟病理実習室

時間：9:00～18:00

内容：初級者対象（婦人科、呼吸器、乳腺、体腔液、リンパ節、甲状腺、泌尿器、  
消化器、脳腫瘍の講義・鏡検実習）

参加人数：述べ48人

2. 検査士研修会

日時：2023年2月25日（土）

場所：Web開催

時間：13時25分～16時

講演Ⅰ 細胞診ガイドラインに準拠した子宮内膜細胞診新報告様式  
「ヨコハマシステム」運用の実際と展望

PCL JAPAN 病理・細胞診センター 平井 康夫 先生

講演Ⅱ ヨコハマシステム私観 —ThinPrep 子宮内膜細胞診の実際—

PCL JAPAN 病理・細胞診センター 古田 則行 先生

参加者人数：115名

⑤ 広報委員会報告

委員長 磯崎 勝

ホームページの変更事業

1. 会則、投稿規定の更新
2. 第37号ニュースレターの掲載
3. お知らせ 随時公開

4. ホームページの保守管理

⑥ 2022年度会計報告および2023年度予算について

2022年度収支決算報告

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
年会費	¥1,825,600	¥2,162,000	関東臨床細胞学会分担金 (691名x500円)	¥345,500	¥345,500
年会費見込額 (納入率80%)		年会費内訳	会誌発行経費 (含英文校正代)	¥1,100,000	¥0
医師 630,400円 (0.8 x 197名 x 4,000円)		医師 (716,000円)	第36回関東臨床細胞学会学術 集会、第39回神奈川県臨床細 胞学会学術集会 補助金	¥500,000	¥500,000
技師 11,925,200円 (0.8 x 498名 x 3,000円)		技師 (1,446,000円)	第39回神奈川県細胞学会学 術集会 補填金	¥0	¥43,470
会誌広告料	¥500,000	¥90,990	国際学会発表支援金	¥100,000	¥50,000
会誌別刷り代	¥100,000	¥0	役員会開催経費	¥10,000	¥0
抄録利用料 (医中誌)	¥5,000	¥2,640	編集委員会経費	¥100,000	¥0
生活習慣病従事者研修 (県からの委託金)	¥100,000	¥100,000	編集委員会事務員謝礼	¥60,000	¥0
生活習慣病研修会参加費 (1,000円 x 25名)	¥0	¥25,000	医師研修会 開催経費	¥30,000	¥0
検査士研修会 参加費	¥0	¥0	検査士研修会 開催経費	¥100,000	¥109,790
検査士研修会 健康財団の共催金	¥20,000	¥20,000	生活習慣病従事者研修 開催経費	¥300,000	¥285,884
子宮の日関連補助金 (日本臨床細胞学会から)	¥20,000	¥34,680	子宮の日補助金 (神奈川県細胞検査士会へ)	¥20,000	¥34,680
利子		¥2	ホームページ維持費	¥50,000	¥19,222
			事務局事務員謝礼	¥60,000	¥60,000
			通信費	¥150,000	¥219,588
			備品費	¥0	¥193,551
			事務用品費	¥200,000	¥85,220
			振込手数料・硬貨料金	¥5,000	¥2,310
			予備費	¥100,000	¥0
			2022年度支出	¥3,230,500	¥1,949,215
2022年度収入	¥2,570,600	¥2,435,312	2023年度繰越金	¥10,266,650	¥11,412,647
2021年度繰越金	¥10,926,550	¥10,926,550			
			合計	¥13,497,150	¥13,361,862

2023年6月14日

以上の通り、2022年度の会計報告をいたします。

会計 阿部直也



監事 上坊敏子



検査の結果、正確なことを認めます。

監事 石渡仁深



・2023年度予算案

収入見込額		支出予定額	
会費(納入率80%)	1,865,600	関東臨床細胞学会分担金 (709名)	354,500
医師 652,800円 0.8×204×4,000円	646,400	会誌印刷代(+前年度分)	1,720,381
技師 1,226,400円 0.8×511×3,000円	1,219,200	第40回神奈川県臨床細胞 学会学術集会補助金	300,000
会誌広告料	500,000	国際学会発表支援金	100,000
会誌別刷代	100,000	幹事会開催経費	10,000
抄録利用料(医中誌)	5,000	編集委員会経費(+前年度 分)	167,524
生活習慣病従事者研修会 参加費	25,000	編集委員会事務員謝礼 (+前年度分)	120,000
生活習慣病従事者研修会 県よりの委託金【2023年度】	100,000	医師研修会 開催経費	30,000
検査士研修会 参加費	0	検査士研修会 開催経費	100,000
検査士研修会 健康財団よりの補助金	20,000	生活習慣病従事者研修 開催経費 【今年度9/3, 9, 10】	300,000
「子宮の日」補助金 (日本臨床細胞学会より)	20,000	子宮の日補助金 (神奈川県細胞検査士会へ)	20,000
		ホームページ維持費	30,000
		通信費	150,000
		事務用品費	200,000
		事務局事務員謝礼	60,000
		振込手数料	5,000
		予備費	100,000
2023年度収入見込	2,635,600	2023年度支出予定	3,767,405
2022年度からの繰越金	11,412,647	2024年度へ繰越予定	10,280,842
合計	14,048,247	合計	14,048,247

- ・学会誌（第 27 巻の発刊が遅れた影響により、編集委員会への支払いが今年度になった関係で予算は 2 年分を計上している旨が補足説明された。
- ・加戸幹事：幹事会開催経費が 1 万円となっているが、現地開催の場合 10 万円ほどは必要はず  
⇒Web 開催であった頃の予算で立てていたため、10 万円に修正し、総会にかけることとした

#### ⑦ 会費滞納者について

4 年分滞納者数 7 名（医師 3 名、技師 4 名）

- ・知り合いが居る会員への声掛けを依頼した
- ・仲村幹事：滞納者へは日本臨床細胞学会へ問い合わせをし、連絡先を聞いて促してはどうか

#### ⑧ 第 41 回神奈川県臨床細胞学会学術集会

日時：2024 年 10 月

大会長：梶原 博（東海大学医学部附属病院 病理診断学）

- ・開催日程は 10 月 5 日（土）、場所は東海大学医学部を予定している
- ・なるべく関連する学会と重ならない日程を設定している

#### ⑨ 関東臨床細胞学会のあり方について

別紙参照①

- ・独自色のある学術集会にするために、基本は当番都県の裁量にゆだねられることになった
- ・学術委員にもっと学会に関わっていただく
- ・分担金に関しては継続して議論することになった

#### ・審議事項

##### ① 事務局業務の一部の外部委託について

- ・2023 年度

関東臨床細胞学会や東京都細胞学会と委託業務実績のある「クバプロ」へ会員名簿作成依頼中

- ・2024 年度以降に検討する委託業務の見積もり（別紙参照②）

過去 5 年間の収支と会員数の動向（別紙参照③）

- ・事務局の負担も大きいため、3 つ（会員名簿管理業務、会費徴収、メーリングリスト作成・管理）の業務を委託したい旨が伝えられた
- ・仲村幹事：事務局の業務は大変なので委託には賛成する。その代わりに事務局謝礼 6 万円を止めるなどしないと会員は納得しないのではないか。
- ・古田副会長：委託した場合、どれくらい事務局の予算が必要なのか。
- ・仲村幹事：半分くらいでいいのではないか
- ・事務局：会員への郵送代もかかってくる

- ・加戸幹事：クバプロのHPを見てみると印刷も扱っている。会誌は歴史的に長くインテルナに依頼しているが80～100万円という予算のうえに郵送は事務局が送料をかけて行っている。クバプロへ会誌の印刷・発送も併せて委託してはどうか。
- ・加戸幹事：事務局を全てクバプロに移すというのはどうか。東京都はクバプロが事務局になっている。
- ・今井幹事：業務は委託しても構わないが、日本臨床細胞学会から会員情報の問い合わせが神奈川県に来るため、どこまでの業務を委託できるのか詰めていく必要があるのではないかと。事務局はあくまで神奈川に置いておいた方がよいのではないかと。
- ・佐藤幹事：日本臨床細胞学会の会員は各地域連携組織に所属していることが要件となっているため、事務局は神奈川県に置かなければいけない。  
日本臨床細胞学会では委託にあたり3社の相見積もりを取り、守秘義務の契約も結んでいる。委託する場合は契約をしっかりと結び、データは事務局が把握できる前提のもとで進める必要がある。  
⇒①委託内容を明らかにする、②事務局は神奈川県で維持する 2点について確認された

- ・事務局：1000万円もの繰越金を抱えている状況が課題だと考えている。資料を見てわかるように単年度決算は黒字が多く、会員は増える一方だ。1,000万円を有意義に使っていくにはどうしたら良いか。
- ・佐治幹事：学会誌の写真をカラーにしてはどうか。投稿者のモチベーションもつながる。投稿数も増える可能性がある。神奈川県産婦人科学会誌では1昨年から全てカラーにした。会員に還元できるところではないか。
- ・古田副会長：会誌も紙媒体とWeb配信の両方、あるいはWeb配信のみカラーとしても良いのではないかと。
- ・吉田幹事：カラー化の費用に関してはインテルナに確認しておく。編集委員会で審議する
- ・佐藤幹事：日本臨床細胞学会でもカラー化に援助することにし、投稿数もあがった。賛成だ。
- ・吉田幹事：インテルナとクバプロの印刷の件は急に変えることは難しい。編集委員の方で引き続き検討していく。

⇒3つの業務委託は承認され、その他の提案に関しては継続審議となった

## ② 第42回神奈川県臨床細胞学会学術集会 会長について

### 神奈川県臨床細胞学会学術集会 大会長

- 第30回 三上 幹男(東海大学医学部専門診療学系 産婦人科)
- 第31回 佐藤 之俊(北里大学医学部 呼吸器外科)
- 第32回 伊藤 仁(東海大学医学部附属病院 病理検査技術科)
- 第33回 川本 雅司(帝京大学医学部附属溝口病院 病理診断科)
- 第34回 宮城 悦子(横浜市立大学附属病院 産婦人科)
- 第35回 北村 隆司(昭和大学横浜北部病院 臨床病理検査室)
- 第36回 横瀬 智之(神奈川県立がんセンター 病理診断科)
- 第37回 鈴木 直(聖マリアンナ医科大学 産婦人科学)
- 第38回 仲村 武(横浜南共済病院 病理診断科)



- 第 39 回 宮城 悦子(横浜市立大学附属病院 産婦人科)
- 第 40 回 古田 玲子(北里大学医療衛生学部 臨床細胞学)
- 第 41 回 梶原 博(東海大学医学部付属病院 病理診断科)

・副会長である梶原先生より、県立がんセンター婦人科の佐治晴哉先生が推薦され承認された

③ 次期会長について (2025～2027 年度)

- 2016～2018 年度 加藤久盛 (県立がんセンター)
- 2019～2021 年度 仲村 武 (横浜南共済病院)
- 2022～2024 年度 宮城悦子 (横浜市立大学附属病院)

立候補、推薦は無かった。引き続き検討していく

・佐藤幹事：宮城会長が居る場で決めるべきである

・その他

- ・仲村幹事：会長を経験された先生が定年退職された際は名誉会員に推薦すると聞いたことがある。加藤久盛先生がこの春に退官されたので、事務局の方で確認して欲しい。  
⇒事務局で確認して役員会メールでお知らせする

## 第 37 回関東臨床細胞学会 代表役員会・合同役員会 議案書 補足

(2023 年 9 月 4 日)

### 第 5 号議案

#### ・関東臨床細胞学会のあり方について

※ 経緯については、2022 年度代表役員会・合同役員会議事録の、“協議事項 第 5 号議案および第 6 号議案”についての記載（本議案書 P6 末尾～P9 上段）をご参照ください。

+++++

☆ 2022 年度の役員会の後、各地域連携組織でのアンケートや 1 回目の各組織会長による WEB 会議を経て、引き続き関東臨床細胞学会を改善し続けていくことを前提として、下記の 2 つの宿題が設定された。

- 1) 関東臨床細胞学会ならではの独自色のある、学術集会の内容を考えてきてもらう。開催形式は多かれ少なかれオンライン導入(ハイブリッドあるいは完全オンライン)を前提とし、その詳細は当番都県で裁量する。
- 2) 分担金について再考してきてもらう。関東の独自色を出すためにどれだけ費用が必要で、その結果分担金が要るか、要るならどれだけか？ 現行のままでも減らせるのでも、その理由がわかるように、考えてきてもらう。

☆ 8 月 22 日に行われた、2 回目の各組織会長による WEB 会議の結果（詳細は別途送付した同会議議事録参照）、宿題 1) に関し本役員会に以下のように提案する。

#### 宿題 1) 関東臨床細胞学会ならではの独自色のある学術集会のために：

- ① 魅力ある集会テーマやプログラムについては当番都県の裁量に委ねるが、全都県が一度は登壇・発表してもらえるよう配慮し、プログラム全体を考える。
- ② 近年演題が集まりにくい一般演題をプログラムに入れるか入れないかは、当番都県の裁量とする。入れる場合も自発的応募に任せ無理に集めない。
- ③ 開催形式は“現地開催と事後オンデマンド配信の併用”とする。
- ④ 当番以外の都県もプログラム作成の段階から関与し協力する。
- ⑤ 関東臨床細胞学会全体として、プログラム・抄録集はインターネット上公開のみとし、印刷・配布はいずれ廃止する。ただし廃止時期は未定で今後の議論で決める。

☆ 宿題 2) の分担金については、具体的提案をするには会長間でさらに熟議を要する、との認識になり（詳細は同会議議事録参照）、本役員会に以下のように提案する。

#### 宿題 2) 分担金について

- ① 直近の学術集会そのものの会計情報がないと分担金と集会費用負担問題の熟議にならない。役員会には間に合わないが事務局として情報を収集し、各組織の代表者で共有したうえで、あらためて議論する。
- ② 昨年の役員会で問題とされた、420 万円なごしの手つかずの特別会計金については、まず一般会計に移し使える準備状態にする。適正な用途は別に検討する。

## 第6号議案

### ・2024（令和6）年度 予算案

☆ “第5号議案 関東臨床細胞学会のあり方について” の、宿題2) 分担金についての議論に連動して、事前に配布した議案書の3つの案のうち、

**第3案**（第1案の前例踏襲案を修正し、とりあえず特別会計金を全額一般会計に移し使えるようにする。使途についてはさらに検討する）を、あらためて本役員会で提案する。

## 第7号議案 その他

1. 関東臨床細胞学会会長と関東臨床細胞学会学術集会長は、それぞれ適任者であれば必ずしも同一人物でなくてもよい、という申し合わせを提案する。

提案理由：

- 1) “今の各地域連携組織組織持ち回り当番による集会開催制では、関東の会長と学術集会長が別人物でもよいというコンセンサスがあれば、その方が各組織の事情に合わせて学術集會を企画・運営しやすいので、そうしてほしい。”という要望、あるいはそうしたいという意向が、少なくとも2組織（長野、静岡）から出ている。
  - 2) これまでは会長と学術集会長が同一人物できているが、実際は会則・施行細則にそこまで細かい規定は書いてないので、慣例としてそれできていたと思われる。
  - 3) [参考] 当会会則・施行細則における会長と学術集会に関する記載。
    - ・ 会則 第4章 役員  
第8条 会長、副会長は加盟する地域連携組織の長並びに本会に所属する公益社団法人日本臨床細胞学会理事の互選によって定める。副会長は次期および次々期の会長とする。会長は、若干名の幹事を委嘱することができる。
    - ・ 施行細則 第2章 役員  
第7条 会長は本会を主宰し、学術集會を行う。副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは会長の職務を代行する。
    - ・ 施行細則 第3章 学術集會  
第13条 学術集會の会期は原則として1日とし、開催日、会場およびその運営は会長が裁量する。
- ※ この、学術集會を“会長が行う”，“会長が裁量する”という文言が、会長が学術集會の目的を達成するために、学術集會長として適任者を選任する（自分自身のことでも別人物のこともある）、ということをもととすると解釈すれば、現行の会則・施行細則を改訂することなく、関東の会長と学術集會長が別人物でもよいというコンセンサスの根拠となる。

以上

# お見積書

No. 2309252

令和5年9月25日

神奈川県臨床細胞学会 御中

見積有効期限 見積より1か月  
 納期 ご相談  
 お支払い方法 ご相談

株式会社 クバプロ  
 〒102-0072 東京都千代田区船橋3-11-15  
 TEL 03-3238-1689 FAX 03-3238-1822  
 代表取締役 松田 國博



品名 神奈川県臨床細胞学会の事務業務委託費として  
 2023年9月11日現在 会員数703名

お見積合計金額税込み	¥			
品名・仕様	数量	単価	金額	備考
<b>1. 会員名簿管理業務委託費(1年間)</b>	<b>702 件</b>	<b>400</b>	<b>280,800</b>	<b>税抜き</b>
業務内容として、①会員名簿管理、②入退会希望受付 ③住所等会員情報の変更受付、④年会費入金状況の 会員原簿への入力、⑤経理処理、を含んでいます。				
<b>2. HP関係(会員専用ページ付き)</b>			<b>240,000</b>	<b>税抜き</b>
・HPサーバーレンタル費(1年間)	12 か月	8,000	96,000	
・HP保守管理費(1年間)	12 か月	6,000	72,000	
・HP維持更新費	12 か月	6,000	72,000	
<b>3. メイリングリスト作成・管理</b>				<b>税抜き</b>
・1件当たりのメイリングリストは40名まで(1年間)	1 件	500	500	
・1件当たり 41名～100名まで(1年間)	1 件	1,000	1,000	
・1件当たり101名～300名まで(1年間)	1 件	2,000	2,000	
・1件当たり301名～600名まで(1年間)	1 件	3,000	3,000	
・1件当たり601名～800名まで(1年間)	1 件	4,000	4,000	
小 計				
消費税				
合 計				

--	--

別紙参照③

	収入	支出	会員数	
			医師	技師
2017	3,153,157	2,397,437	196	487
2018	2,940,506	2,352,653	196	474
2019	2,850,763	3,057,243	197	479
2020	2,504,882	4,784,162	199	485
2021	2,820,832	2,064,113	198	498
2022	2,435,312	1,949,215	201	509

